【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公開番号】特開2007-302034(P2007-302034A)
【公開日】平成19年11月22日(2007.11.22)
【年通号数】公開・登録公報2007-045
【出願番号】特願2006-129932(P2006-129932)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｊ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｊ　7/00　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成21年5月8日(2009.5.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の板状のシェードと、
開口の対向する２つの辺に沿って設けられ、前記シェードの両側に設けられたスライダが移動可能に係合し、前記開口以外の部分で前記シェードが積層される収納位置から前記開口を覆う閉位置まで前記シェードを案内するガイドと、
を有するシェード装置において、
前記ガイドは、
前記シェードの開閉方向に沿った本体部と、
前記本体部の前記シェードの全開位置側の端部に形成され、前記本体部と交差する方向に前記シェードを案内する収納部とからなり、
収納位置にある前記シェードにおいて、開口側を前とした場合、
前記シェードの側部は、前記ガイドに移動可能に係合するスライダが設られ、
少なくとも前記開口を覆った状態で一番後のシェード以外のシェードの後部には、係合部が形成され、
少なくとも前記開口を覆った状態で一番前のシェード以外のシェードの前部には、前方のシェードの前記係合部が係合可能な被係合部が形成され、
前記シェードのスライダが前記ガイドの収納部から本体部へ移動すると、前記被係合部と前記係合部とが係合し、前記シェードのスライダが前記ガイドの本体部から収納部へ移動すると、前記被係合部と前記係合部との係合が解除されるように、前記ガイドが形成されたことを特徴とするシェード装置。
【請求項２】
複数の板状のシェードと、
開口の対向する２つの辺に沿って設けられ、前記シェードの両側に設けられたスライダが移動可能に係合し、前記開口以外の部分で前記シェードが積層される収納位置から前記開口を覆う閉位置まで前記シェードを案内するガイドと、
を有するシェード装置において、
前記ガイドは上下方向に並設されたロアガイドとアッパガイドとから構成され、
前記ロアガイド、アッパガイドは、
前記シェードの開閉方向に沿った本体部と、

前記本体部の前記シェードの全開位置側の端部に形成され、前記本体部と交差する方向に折曲して延出する収納部とからなり、
収納位置にある前記シェードにおいて、開口側を前とした場合、
前記シェードの側部の前部には、前記アッパガイドに移動可能に係合するフロントスライダが設られ、
前記シェードの側部の後部には、前記ロアガイドに移動可能に係合するリアスライダが設られ、
更に、少なくとも前記開口を覆った状態で一番後のシェード以外のシェードの側部の後部には、前記ロアガイド、アッパガイドの収納部側に延出するアームが形成され、
少なくとも前記開口を覆った状態で一番前のシェード以外のシェードの側部の前部には、前方のシェードの前記アームが当接可能な当接面が形成され、
少なくとも前記開口を覆った状態で一番後のシェード以外のシェードの側部の後部には、係合部が形成され、
少なくとも前記開口を覆った状態で一番前のシェード以外のシェードの側部の前部には、前方のシェードの前記係合部が係合可能な被係合部が形成され、
前記シェードのフロントスライダ、リアスライダが前記アッパガイド、前記ロアガイドの収納部から本体部へ移動すると、前記被係合部と前記係合部とが係合し、
前記シェードのフロントスライダ、リアスライダが前記アッパガイド、前記ロアガイドの本体部から収納部へ移動すると、前記被係合部と前記係合部との係合が解除されるように、前記アッパガイドと前記ロアガイドとが形成されたことを特徴とするシェード装置。
【請求項３】
前記スライダを前記ガイドに対して前記シェードの幅方向に押圧させる押圧手段が設けられたことを特徴とする請求項又は２記載のシェード装置。
【請求項４】
前記シェードの側面には、側面に沿って段部が形成され、
前記アームの先端側には、後方のシェードの側部方向に折曲され、後方のシェードの段部に係合可能な折曲部が形成されていることを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載のシェード装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
請求項１に係る発明は、複数の板状のシェードと、開口の対向する２つの辺に沿って設けられ、前記シェードの両側に設けられたスライダが移動可能に係合し、前記開口以外の部分で前記シェードが積層される収納位置から前記開口を覆う閉位置まで前記シェードを案内するガイドと、を有するシェード装置において、前記ガイドは、前記シェードの開閉方向に沿った本体部と、前記本体部の前記シェードの全開位置側の端部に形成され、前記本体部と交差する方向に前記シェードを案内する収納部とからなり、収納位置にある前記シェードにおいて、開口側を前とした場合、前記シェードの側部は、前記ガイドに移動可能に係合するスライダが設られ、少なくとも前記開口を覆った状態で一番後のシェード以外のシェードの後部には、係合部が形成され、少なくとも前記開口を覆った状態で一番前のシェード以外のシェードの前部には、前方のシェードの前記係合部が係合可能な被係合部が形成され、前記シェードのスライダが前記ガイドの収納部から本体部へ移動すると、前記被係合部と前記係合部とが係合し、前記シェードのスライダが前記ガイドの本体部から収納部へ移動すると、前記被係合部と前記係合部との係合が解除されるように、前記ガイドが形成されたことを特徴とするシェード装置である。
請求項２に係る発明は、複数の板状のシェードと、開口の対向する２つの辺に沿って設けられ、前記シェードの両側に設けられたスライダが移動可能に係合し、前記開口以外の

部分で前記シェードが積層される収納位置から前記開口を覆う閉位置まで前記シェードを案内するガイドと、を有するシェード装置において、前記ガイドは上下方向に並設されたロアガイドとアッパガイドとから構成され、前記ロアガイド、アッパガイドは、前記シェードの開閉方向に沿った本体部と、前記本体部の前記シェードの全開位置側の端部に形成され、前記本体部と交差する方向に折曲して延出する収納部とからなり、収納位置にある前記シェードにおいて、開口側を前とした場合、前記シェードの側部の前部には、前記アッパガイドに移動可能に係合するフロントスライダが設られ、前記シェードの側部の後部には、前記ロアガイドに移動可能に係合するリアスライダが設られ、更に、少なくとも前記開口を覆った状態で一番後のシェード以外のシェードの側部の後部には、前記ロアガイド、アッパガイドの収納部側に延出するアームが形成され、少なくとも前記開口を覆った状態で一番前のシェード以外のシェードの側部の前部には、前方のシェードの前記アームが当接可能な当接面が形成され、少なくとも前記開口を覆った状態で一番後のシェード以外のシェードの側部の後部には、係合部が形成され、少なくとも前記開口を覆った状態で一番前のシェード以外のシェードの側部の前部には、前方のシェードの前記係合部が係合可能な被係合部が形成され、前記シェードのフロントスライダ、リアスライダが前記アッパガイド、前記ロアガイドの収納部から本体部へ移動すると、前記被係合部と前記係合部とが係合し、前記シェードのフロントスライダ、リアスライダが前記アッパガイド、前記ロアガイドの本体部から収納部へ移動すると、前記被係合部と前記係合部との係合が解除されるように、前記アッパガイドと前記ロアガイドとが形成されたことを特徴とするシェード装置である。

（１）全てのシェードが収納位置にある状態から、シェードを引き出して、シェードで開口を覆う場合

収納位置で積層されたシェードのうち、前記開口を覆った状態での一番前のシェードを開口方向に引き出す。すると、このシェードのアームがこのシェードの後方のシェードの当接面を押し、このシェードの後方のシェードも引き出される。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】

請求項３にかかる発明は、前記フロントスライダ、前記アッパスライダのうち、少なくともどちらか一方のスライダを前記ガイドに対して前記シェードの幅方向に押圧させる押圧手段が設けられたことを特徴とする請求項１又は２記載のシェード装置である。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】

請求項４に係る発明は、前記シェードの側面には、側面に沿って段部が形成され、前記アームの先端側には、後方のシェードの側部方向に折曲され、後方のシェードの段部に係合可能な折曲部が形成されていることを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載のシェード装置である。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】

請求項２－請求項４に係る発明によれば、前記シェードのフロントスライダ、リアスライダが前記アッパガイド、前記ロアガイドの収納部から本体部へ移動すると、前記被係合部と前記係合部とが係合し、前記シェードのフロントスライダ、リアスライダが前記アッパガイド、前記ロアガイドの本体部から収納部へ移動すると、前記被係合部と前記係合部との係合が解除されるように、前記アッパガイドと前記ロアガイドとが形成されたことにより、係合部と被係合部とが確実に係合し、前シェード、後シェードが確実に同伴移動する。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
請求項３に係る発明によれば、前記フロントスライダ、前記アッパスライダのうち、少なくともどちらか一方のスライダを前記ガイドに対して前記シェードの幅方向に押圧させる押圧手段が設けられたことにより、スライダとガイドとのガタがなくなり、シェードの移動時に異音が発生したり、スライダとガイドとの摺動抵抗が高くなったりすることを防止できる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
請求項４に係る発明によれば、前記アームの折曲部が後方のシェードの段部に係合することにより、振動等によって、シェードが暴れるのを防止できる。